

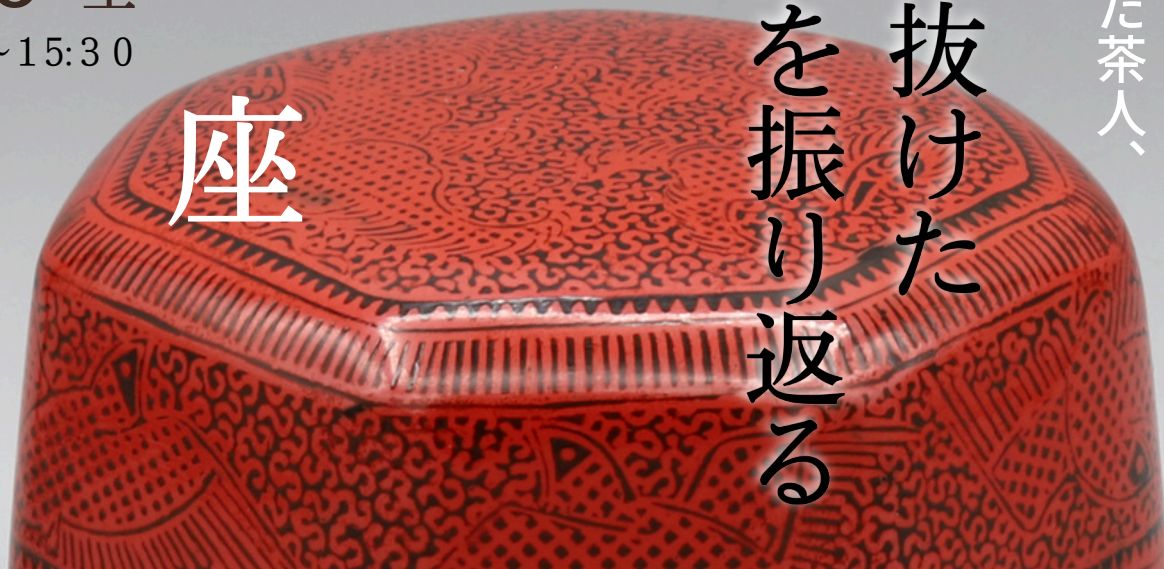
上田重安く戦国時代を生き抜いた茶人、
そして武将く

上田宗箇が駆け抜けた 時代を振り返る

茶論講座

茶の湯事始3展 関連行事

5/
10 土
14:00～15:30



蒔罽七角茶器（華鶴大塚美術館蔵）

講師

岡山県立博物館

副館長 内池 英樹氏

広島市生まれ。岡山大学大学院教育学研究科修了後、岡山大学教育学部附属教育学センター助手、玉野市立第二日比小学校教諭、岡山県立図書館サービス第二課主任、玉野市教育委員会学校教育課指導主事、岡山県立博物館学芸課主幹、岡山県教育庁文化財課参事を経て現在に至る。主に岡山県の中世後半から近世について研究を行い、2022年に『現代語訳 備中兵乱記』『現代語訳 備前兵記』を監修した。

定員 40名 ※要申込/聴講無料

会場 タカヤ株式会社 本店3階

※会場は、美術館から徒歩約3分です。

概要

上田宗箇は、重安という名の武将であり、戦国時代から安土桃山時代、さらには江戸時代という「戦国乱世」を生き抜きました。利休、織部らから茶を学んだように、信長・秀吉・家康という天下人との交流もありました。

今回の講座では、上田重安（宗箇）の生涯を振り返りながら、同じ時期に岡山・広島ではどのようなことが起きていたのかについても比べます。